

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所（強度計算方法）

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-添3-002-02	VI-3-2-2 クラス1管の強度計算方法	p.9	<p>「(1) クラス1管の基本板厚計算方法」のガスケット係数及びガスケットの最小設計締付圧力に用いる記号について資料間の整合を図るため、記載の適正化を行いました。（下線部参照）</p> <p>(旧) m , y (新) <u>m</u> , <u>y</u></p>	2022/1/31	
2	NS2-添3-002-02	VI-3-2-2 クラス1管の強度計算方法	p.27	<p>「(1) クラス1管の基本板厚計算方法」のレジューサの強度計算に関する記載で記載順序の適正化を行いました。（下線部参照）</p> <p>(旧) 設計・建設規格 PPB-3415.1(1)b.の式PPB-1.7より求めた値 大径端側 (新) <u>大径端側</u> <u>設計・建設規格 PPB-3415.1(1)b.の式PPB-1.7より求めた値</u></p>	2022/1/31	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
3	NS2-添3-002-02	VI-3-2-2 クラス1管の強度計算方法	p.56	<p>「別紙1 基本板厚計算書の概略系統図記載要領」の表の注記*2について島根2号機では対象がないため削除しました。それに伴い「注記*3」を「注記*2」に繰り上げています。</p> <p>【削除した記載】</p> <ul style="list-style-type: none"> *2: 既申請ラインとの接続を示すとき、既申請ラインの取合配管の管番号をカッコ書きで記載する。 	2022/1/31	
4	NS2-添3-002-02	VI-3-2-2 クラス1管の強度計算方法	p.57	<p>「別紙1 基本板厚計算書の概略系統図記載要領」のプラントの名称について誤記を修正しました。(下線部参照)</p> <p>(旧) 各プラントで定められた名称とする。 (新) <u>島根原子力発電所第2号機</u>で定められた名称とする。</p>	2022/1/31	
5	NS2-添3-002-02	VI-3-2-2 クラス1管の強度計算方法	p.61	<p>「別紙1 基本板厚計算書の概略系統図記載要領」の4.1(4)d.の系統名称について誤記を修正しました。(下線部参照)</p> <p>(旧) 復水器空気抽出系 (新) <u>抽出空気系</u></p>	2022/1/31	
6	NS2-添3-002-02	VI-3-2-2 クラス1管の強度計算方法	p.61	<p>「別紙1 基本板厚計算書の概略系統図記載要領」の4.1(4)d.の系統名称について誤記を修正しました。(下線部参照)</p> <p>(旧) <u>放射線ドレン移送系</u> (新) ドレン移送系</p>	2022/1/31	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
7	NS2-添3-002-02	VI-3-2-2 クラス1管の強度計算方法	p.61	「別紙1 基本板厚計算書の概略系統図記載要領」の4.1(4)d.の系統名称について誤記を修正しました。(下線部参照) (旧) 洗濯廃液系 (新) <u>機器ドレン系</u>	2022/1/31	
8	NS2-添3-002-02	VI-3-2-2 クラス1管の強度計算方法	p.61	「別紙1 基本板厚計算書の概略系統図記載要領」の4.1(4)d.の機器名称について誤記を修正しました。(下線部参照) (旧) 放射性ドレン移送系廃棄物処理建物洗濯廃液サンプポンプより (新) <u>ドレン移送系原子炉建物機器ドレンサンプポンプ</u> より	2022/1/31	
9	NS2-添3-002-02	VI-3-2-2 クラス1管の強度計算方法	p.106	「(2) クラス1管の応力計算方法」について以下の章を追加しました。 【追記した記載】 ・3.1 管の応力計算書	2022/1/31	
10	NS2-添3-002-02	VI-3-2-2 クラス1管の強度計算方法	p.108	「(2) クラス1管の応力計算方法」について以下の記載を追加しました。 【追記した記載】 ・また、弁の剛性を考慮したモデル化を行う。	2022/1/31	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
11	NS2-添3-002-02	VI-3-2-2 クラス1管の強度計算方法	p.108	「(2) クラス1管の応力計算方法」について以下の記載を追加しました。 【追記した記載】 ・分岐管の振動が	2022/1/31	
12	NS2-添3-002-02	VI-3-2-2 クラス1管の強度計算方法	p.108	「(2) クラス1管の応力計算方法」について以下の記載を追加しました。 【追記した記載】 ・配管の	2022/1/31	
13	NS2-添3-002-02	VI-3-2-2 クラス1管の強度計算方法	p.108	「(2) クラス1管の応力計算方法」について他のクラスの管の応力計算方法と資料間の整合を図るため、記載の適正化を行いました。(下線部参照) (旧) 管内流体の質量付加質量として保温材等の質量 (新) <u>保温材等の付加質量及び管内流体の質量</u>	2022/1/31	
14	NS2-添3-002-02	VI-3-2-2 クラス1管の強度計算方法	p.123	No.9と同様に「(2) クラス1管の応力計算方法」について以下の章を追加しました。 【追記した記載】 ・3.1 管の応力計算書	2022/1/31	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
15	NS2-添3-002-02	VI-3-2-2 クラス1 管の強度計算方法	p.123	「(2) クラス1 管の応力計算方法」について以下の記載を追加しました。 【追記した記載】 ・各応力区分における最大応力評価点の評価結果を解析モデル単位に記載する。また、	2022/1/31	
16	NS2-添3-002-02	VI-3-2-2 クラス1 管の強度計算方法	p.123	「(2) クラス1 管の応力計算方法」について以下の記載の適正化を行いました。(下線部参照) (旧) 代表モデル (新) 評価結果記載の解析モデル	2022/1/31	
17	NS2-添3-002-02	VI-3-2-2 クラス1 管の強度計算方法	p.123	「(2) クラス1 管の応力計算方法」について、誤記を修正しました。(下線部参照) (旧) 評価結果 (新) 計算結果	2022/1/31	
18	NS2-添3-002-02	VI-3-2-2 クラス1 管の強度計算方法	p.123	「(2) クラス1 管の応力計算方法」について、以下の記載を追加しました。 【追記した記載】 ・代表モデルは各モデルの最大応力点の応力と裕度を算出し、応力分類毎に裕度最小のモデルを選定して鳥瞰図、計算条件及び評価結果を記載する。このため、	2022/1/31	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
19	NS2-添3-002-04	VI-3-2-4 クラス2管の強度計算方法	p.81	「(2) クラス2管の応力計算方法」について以下の章を追加しました。 【追記した記載】 ・3.1 管の応力計算書	2022/1/31	
20	NS2-添3-002-04	VI-3-2-4 クラス2管の強度計算方法	p.83	「(2) クラス2管の応力計算方法」について以下の記載を追加しました。 【追記した記載】 ・また、弁の剛性を考慮したモデル化を行う。	2022/1/31	
21	NS2-添3-002-04	VI-3-2-4 クラス2管の強度計算方法	p.83	「(2) クラス2管の応力計算方法」について以下の記載を追加しました。 【追記した記載】 ・分岐管の振動が	2022/1/31	
22	NS2-添3-002-04	VI-3-2-4 クラス2管の強度計算方法	p.83	「(2) クラス2管の応力計算方法」について以下の記載を追加しました。 【追記した記載】 ・配管の	2022/1/31	
23	NS2-添3-002-04	VI-3-2-4 クラス2管の強度計算方法	p.88	No.19と同様に「(2) クラス2管の応力計算方法」について以下の章を追加しました。 【追記した記載】 ・3.1 管の応力計算書	2022/1/31	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
24	NS2-添3-002-04	VI-3-2-4 クラス2管の強度計算方法	p.88	「(2) クラス2管の応力計算方法」について以下の記載を追加しました。 【追記した記載】 ・各応力区分における最大応力評価点の評価結果を解析モデル単位に記載する。また、	2022/1/31	
25	NS2-添3-002-04	VI-3-2-4 クラス2管の強度計算方法	p.88	「(2) クラス2管の応力計算方法」について、誤記を修正しました。(下線部参照) (旧) 代表モデル (新) <u>評価結果記載の解析モデル</u>	2022/1/31	
26	NS2-添3-002-04	VI-3-2-4 クラス2管の強度計算方法	p.88	「(2) クラス2管の応力計算方法」について、誤記を修正しました。(下線部参照) (旧) 評価結果 (新) <u>計算結果</u>	2022/1/31	
27	NS2-添3-002-04	VI-3-2-4 クラス2管の強度計算方法	p.88	「(2) クラス2管の応力計算方法」について以下の記載を追加しました。 【追記した記載】 ・代表モデルは各モデルの最大応力点の応力と裕度を算出し、応力分類毎に裕度最小のモデルを選定して鳥瞰図、計算条件及び評価結果を記載する。このため、	2022/1/31	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
28	NS2-添3-002-05	VI-3-2-5 クラス3容器の強度計算方法	p.3	「1.2 適用規格及び基準との適合性 (2)」の中でフランジに関する規格を追加しました。 【追記した記載】 ・ PVC-3700	2022/1/31	
29	NS2-添3-002-05	VI-3-2-5 クラス3容器の強度計算方法	p.20	「3.2容器の穴の補強計算 e.評価」の中で「3.2 容器の穴の補強計算 b.穴の補強 (d)補強に有効な範囲 $X_1 \neq X_2$ の場合の補強に有効な面積の確認」における評価の項目を追加しました。 【追記した記載】 ・ $A_{0D} \geq A_{rD}$ (ただし, $X_1 \neq X_2$ の場合のみ)	2022/1/31	
30	NS2-添3-002-05	VI-3-2-5 クラス3容器の強度計算方法	p.32	「別紙 容器の強度計算書フォーマット」について、使用する設計・建設規格を明確化するため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 設計・建設規格 PVD-3512 (新) 設計・建設規格 <u>PVD-3511</u> , PVD-3512	2022/1/31	
31	NS2-添3-002-05	VI-3-2-5 クラス3容器の強度計算方法	p.33	「別紙 容器の強度計算書フォーマット」について、使用する設計・建設規格を明確化するため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 設計・建設規格 PVD-3010及びPVD-3110 (PVC-3950準用) (新) 設計・建設規格 <u>PVD-3010</u> , <u>PVD-3110</u> , <u>PVD-3510</u> (PVC-3160, PVC-3950準用)	2022/1/31	